

2019年度

# 自己評価報告書

2020年2月27日

学校法人 東京メディアアカデミー  
専門学校 東京声優アカデミー

# 目次

## 本校の沿革

1. 学校の教育目標
2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画
3. 評価項目の達成及び取組状況
  - (1) 教育理念・目標
  - (2) 学校運営
  - (3) 教育活動
  - (4) 学修成果
  - (5) 学生支援
  - (6) 教育環境
  - (7) 学生の受入募集
  - (8) 財務
  - (9) 法令等の遵守
  - (10) 社会貢献・地域貢献
  - (11) 国際交流

## 学校の沿革

### 学校名及び設置者

学校名	学校法人東京メディアアカデミー	専門学校東京声優アカデミー
設置者	理事長	市原 光敏
校長	校長	市原 光敏

### 所在地及び認可年月日

所在地	東京都渋谷区恵比寿南 3-1-5
設立認可	昭和 5 年 9 月 15 日
学校法人認可	昭和 30 年 6 月 22 日
専修学校認可	昭和 51 年 8 月 1 日

## 沿革

本校は昭和 5 年 9 月に現在の新宿区市ヶ谷に洋裁教育の東京高等技芸学院を開校し、当時盛んになってきた洋裁研究熱の中にあって進歩的な教育システムとして各階に迎えられ、学校は発展の一途をたどる。また、地方の女性の要望に応じて、わが国最初の洋裁通信教育講座を開講。生徒数増加に伴い、現在の恵比寿に移転。

昭和 24 年には財団法人東京技芸学校設立にあたり、認可される。昭和 30 年には学校法人となる。以後、新しい時代に向けてのファッション教育を目指す。

昭和 49 年に恵比寿に新校舎を竣工、昭和 51 年に専修学校となる。

平成元年に学校法人東京服飾アカデミーと改称し、学校名を東京ファッションアカデミーと改称した。

平成 9 年には、学校名を専門学校東京メディアアカデミーとし、文部大臣の許可認可による、服飾、ファッション、モデル科を設立した。

さらに、ファッション芸術専門課程に声優・ボーカル科、放送タレント・DJ 科を新設し、専修学校として、その時代に対応すべき人材を輩出してきた。

平成 21 年に声優養成科（2 年制）の単科の専門学校となり、平成 24 年に法人名を学校法人東京メディアアカデミーに、学校名を専門学校東京声優アカデミーと改称した。

創設以来続けてきた服飾・ファッション関連の科は廃止し、79 年に及ぶ洋裁教育を終了する。

新しい時代に向かい、令和 2 年 4 月より、国際コミュニケーション学科を新設、グローバルな視野に立った感性を養う教育を行う。本校は、声優養成科との 2 本柱となり、「手作り教育で実現する“技・感・美”三位一体の教育を図る」という教育理念を実践する教育機関である。

## 1. 学校の教育目標

本校は、手作り教育の実現する「技・感・美」三位一体の教育理念を掲げている。プロの表現者として要求される技術、一般教育からプロとしての精神力まで幅広い知力、心の内側から外見に及ぶトータルな美学を掲げ、この三つをバランス良くカリキュラムに取り入れ、技術や感性を磨き、社会人としての教養やマナーを身につけ、より社会に有用な人材を育成することを目的としている。

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

教育の基本となる、「人と人とのコミュニケーション」を基に、毎日の挨拶を重視し、社会人としてのコミュニケーション能力向上に向け指導する。また、学生・講師・職員の距離を近づけ、のびのびと集中して学べる環境を整え、学生一人一人にしっかりと目が届く教育体制のもと、担任が面談し、個々の努力目標や改善点等をアドバイスする。

このような基礎となる教育を基に目指す業界動向をとらえ、業界との連携によるインターンシップ制度を通じ、経験を踏まえ人間力の向上、就職に向け、指導する。

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

### (1) 教育理念・目標

	評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
1-1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
1-2	学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1
1-4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1
1-5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1

#### ① 課題

- ・1-1, 1-2, 1-3, 1-4、などはHP上で告知はしているものの、学生と保護者の理解度が分からない。

#### ② 今後の改善方策

- ・学生や保護者にアンケート調査等を行い把握する。  
特に1-5に関しては、これまで以上に企業との連携を構築し、現場経験の機会を増やし、業界のニーズにあった人材の育成に努める。

③ 特記事項

- ・学校の理念などは年に2回行われる講師会で共有し、意見交換も行っている。又、担任から、保護者からの意見やその対応についても話し合いが行われている。

(2) 学校運営

	評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
2-1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
2-2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 ③ 2 1
2-3	運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④ 3 2 1
2-4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	④ 3 2 1
2-5	教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	④ 3 2 1
2-6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④ 3 2 1
2-7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1
2-8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1

① 課題

- ・事業計画に基づき、学校教育の情報公開を進めていくこと。  
また、人事等に関しては規定も明確に定めてあり、適切に運用しているが、時代の変化に対応していくことが望まれる。また、会議の決定事項を周知徹底する。

② 今後の改善方策

- ・学校の情報公開（シラバス・自己評価等）に向け準備を進めている。

③ 特記事項

- ・学校に関する情報は本校オフィシャルサイトに掲載して広く公表している。
- ・学校経営や運営に関する会議や委員会は、理事会・評議委員会があり、意思決定の機能は効率的なものとなっている。
- ・就業規則や組織図によって各メンバーの職務分掌・責任は明確化され、運営組織がそれぞれの目標達成に向け、定例会議が行われている。各部署の役割と権限は、各部署の目標達成に適合するよう定められ、効率的な運営や意志決定がなされている。  
また、情報システム化等による業務の効率化も、教務、広報、経理、事務などデータを共

有化し作業効率化を図っている。個人情報の管理も徹底している。情報共有システム、インフォクリッパーの導入により作業の効率化を進めている。

### (3) 教育活動

	評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
3-1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
3-2	教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の就業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 ③ 2 1
3-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
3-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1
3-5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④ 3 2 1
3-6	授業評価の実施・評価体制はあるか	4 ③ 2 1
3-7	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④ 3 2 1
3-8	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
3-9	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4 ③ 2 1
3-10	人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件をそなえた教員を確保しているか	④ 3 2 1
3-11	関連分野における業界との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	④ 3 2 1
3-12	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④ 3 2 1
3-13	職員の能力開発のための研修等が行われているか	④ 3 2 1

#### ① 課題

- ・新しい学科や専攻科目の増加による講師確保。
- ・新学科の開校に伴い、今後全般的な授業時間数の見直しが必要。
- ・授業評価の実施に関して1学年のみしか実施されていない。

② 今後の改善方策

- ・新しい学科や専攻科目により、専門性の高い講師陣を強化する。
- ・新学科と新しい業界のニーズに対応するためにカリキュラムを見直す。
- ・全学年を通しての評価体制を強化する。

③ 特記事項

- ・専門業界の講師等により、内容の深い授業であり、各事務所の評価は高い。卒業生も業界で活躍している。
- ・業界のニーズに沿った講師、人材を採用しているので努力する学生は満足できるレベルに達している。
- ・本校にオーディションの参加企業が、毎年多数来校する。
- ・日本声優事業者協議会に定期的に参加し、教育研修、業界における最新情報の取得や、業界団体、関係者との交流を定期的に行っている。  
国際声優協会が主催する声優魂に参加し、業界の発展向上に協力している。又、声優魂の審査会で入賞した声優希望者を特待生として受け入れ教育している。

(4) 学修成果

	評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
4-1	就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
4-2	資格取得率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
4-3	退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
4-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④ 3 2 1
4-5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④ 3 2 1

① 課題

- ・残念ながら、退学者が年々増加している。

② 今後の改善方策

- ・退学者の低減を図りたいが、経済的な理由等もあり、学生の人生を考慮した上で最善の進路指導に努める。
- ・声優業界に限らず、その他関連業界の就職指導を実施することにより進路の幅を広げていきたい。

③ 特記事項

- ・ 2年次に20社以上の声優業界を中心とする芸能関連企業の説明会があり、進路選択の参考にしている。
- ・ 本校の学生は表現力やコミュニケーション力があり、業界のニーズと一致している。

(5) 学生支援

	評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
5-3	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④ 3 2 1
5-4	課外活動に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
5-5	学生の生活環境への支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
5-6	保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
5-7	卒業生への支援体制はあるか	④ 3 2 1
5-8	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④ 3 2 1
5-9	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④ 3 2 1

① 課題

- ・ 特になし。

② 今後の改善方策

- ・ 今の体制を維持強化していく。

③ 特記事項

- ・ 一人一人の学生の相談を聞くことにより、進路の選択や方針を確認している。
- ・ インターンシップとして、文化放送のラジオ番組には在校中から参加している。企業のプロモーションビデオを本校スタジオ内で製作し、ナレーションや台詞を学生が担当している。インターンシップにより学生の意識が向上している。今後、卒業生も含めフォ



ローアップしていく。また、高校の進路指導の先生との更なる連携を図りたい。

#### (6) 教育環境

	評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4    ③    2    1
6-2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④    3    2    1
6-3	防災に対する体制は整備されているか	④    3    2    1

##### ① 課題

- ・スタジオの機材などが古くなってきているのでチェックする必要がある。

##### ② 今後の改善方策

- ・学生が快適に学習できるように設備を充実させる。

##### ③ 特記事項

- ・録音スタジオ（改修工事）大教室（床改修工事）を整備し、学生が学びやすい環境に配慮している。
- ・防災に対する体制として、特殊建物等定期調査等、定期的に検査をして万全を期している。また、地震緊急速報装置や、AED（自動体外式除細動器）を設置し、避難訓練も年2回実施している。

#### (7) 学生の受入れ募集

	評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
7-1	学生募集活動は、適正に行われているか	④    3    2    1
7-2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4    ③    2    1
7-3	学納金は妥当なものとなっているか	④    3    2    1

##### ① 課題

- ・年々紙媒体の告知効果が弱くなっている。募集定員には達していない現状がある。

② 今後の改善策

- ・インターネット、学校訪問等の新企画による合理的、効果的な告知媒体を活用しているが、今後更に強化する。

③ 特記事項

- ・全国各地の学校訪問や学校説明会、ガイダンスなどを積極的に行っている。体験セミナー、春期講習、夏期講習では毎回アンケート調査をしている。本校のセミナー等は評判がよくリピーターが多い。入学者の九割以上がセミナー参加者である。

(8) 財務

	評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	④ 3 2 1
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	4 3 ② 1

① 課題

- ・本校の教育内容は良質であり声優は人気業種であるが、少子化により生徒数が減少している。
- ・財務情報の公開体制が未だ準備中。

② 今後の改善方策

- ・インターンシップの内容精査、広告の効率化により予算の効率化を進める。
- ・新学科（国際コミュニケーション学科）の立ち上げにより生徒数の改善を図る。
- ・財務情報の公開に努める。

③ 特記事項

- ・当校は学校所有の建物であり、借入はない。
- ・広告による周知・学校訪問の強化・インターンシップの実施により、2020年度の入学者は増加している。
- ・国際コミュニケーション学科の新設により学生数の増加を見込んでいたが、コロナウィルスの影響で2020年度は少人数での開校となる。

(9) 法令等の遵守

	評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
9-1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
9-3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 ③ 2 1
9-4	自己評価結果を公開しているか	4 3 ② 1

① 課題

- ・自己評価等の公開実施

② 今後の改善方策

- ・自己評価等の公開に向けて定期的に学校関係者委員会を開催し問題点を改善する。

③ 特記事項

- ・専門学校として法令を遵守し、又個人情報の保護対策も徹底して行われている。

(10) 社会貢献・地域貢献

	評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④ 3 2 1
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 ③ 2 1
10-3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4 3 ② 1

① 課題

- ・ボランティア活動に関する事が、あまり生徒に周知されていない。

② 今後の改善方策

- ・ボランティア活動を積極的に奨励する。
- ・公開講座等は、必要があれば実施する。

③ 特記事項

- ・本校設備をTV番組やドラマの撮影など、無償で協力している。
- ・本校学生による卒業公演はHP上での案内及びさくらホールにチラシを配置し、多くの方々に広く告知している。今年度は500人以上の方々が渋谷区のさくらホールに会場された。

(11) 国際交流 (必要に応じて)

	評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
11-1	・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4	③	2	1
11-2	・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等 がとられているか	4	③	2	1
11-3	・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備 されているか	4	③	2	1
11-4	・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	③	2	1

① 課題

- ・7名の留学生入学希望者があったが、残念ながら本校指定の日本語レベル基準に満たず、入学には至らなかった。

② 今後の改善方策

- ・次年度(2020年4月)に国際コミュニケーション学科を開校し、留学生の増加を見込む。

③ 特記事項

- ・今後に向け、留学生受け入れ担当の強化、行政書士の先生との連携も行われている。